⑤国道253号 上越魚沼地域振興快速道路(八箇峠道路事業)

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所

キーワード 施工期間の限定、施工の合理化・効率化、 ピポット式構台

全建賞審査委員会の評価ポイント

豪雪や厳しい山岳地形など予見が困難な条件における地域 高規格道路である八箇峠道路の整備事業。希少猛禽類営巣期間の工事中止や積雪期間の工事中止などにより施工期間が限 定されるなか、河川区域内を活用したトンネル施工用進入路 の設置や曲線橋の架設に旋回設備を活用するなど、施工の合 理化・効率化を徹底して行った点が評価された。

1. はじめに

当該事業箇所は、希少猛禽類営巣期間における工事中止や積雪期間(特に雪崩等の危険性)の工事中止などによる施工期間の限定、降雨・降雪に伴う地形等の変状や災害等、想定外の事象に関する度重なる対応が必要であったが、事業推進に向けた工夫や綿密な工程管理、施工の合理化・効率化を徹底して行ったことで、早期効果発現に向けて目標としていた平成29年度の開通を達成したものである。



開通した八箇峠道路(南魚沼市側上空)

2. 事業の概要

八箇峠道路事業は、平成12年度に直轄権限代行事業として事業化した、地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」のうちの、延長8.5kmの①交通障害の一部解消、②十日町地域の救急救命活動の支援、③観光振興の支援などの整備効果が期待される道路である。このうち十日町市八箇IC~南魚沼市野田IC間延長6.6kmについては、開通の目途がたった平成24年度に、「平成29年度開通」の目標を公表した。その後鋭意工事を進め、目標である平成29年の本格的な降雪期前の11月25日に開通した。

3. 事業の成果

長大トンネルを両側から掘削するために、一方の進入路を河川管理者の協力を得て河川区域内に設置することで早期着手が可能となった。また、この進入路の活用により、トンネル以外の本線工事においても大型建設機械が使用可能となり、複数工事の効率的な同時施工を可能とした。

急峻な地形に架設する橋梁が、平面曲線半径、縦断勾配とも厳しく、通常の送出し工法による架設が困難であった為、施工事例が少ないピボット式構台を採用した。 桁送出し時は、桁送出し方向への逸走が生じないよう構台により、桁を水平に保ち、送出し完了後は中間支点にて長大な桁を旋回させることで所定の位置にセットした。

このほか、週1回の合同工程会議のほか、特に重複する工種間(土工と舗装や防雪など)では、コア会議にて別途詳細な工程を確認し、徹底した施工の合理化・効率化を図り、確実な工事推進に取り組んだ。

開通6ヶ月後の交通量は、開通により走りやすくなった八箇峠道路へ、並行路線からの交通が転換した結果、開通前と比較すると、旧道を含む国道253号の交通量が17%増加した。

4. おわりに

現在、長岡国道事務所では、残る野田ICから終点側1.9kmの早期開通に向けて、鋭意事業を進めているところである。



野田 IC より終点側を望む

賛助会員 青木あすなろ建設(㈱、大林道路(㈱)、鹿島建設(㈱)、鹿島道路(㈱)、佐藤工業(㈱)、世紀東急工業(㈱)、大成建設(㈱)、(㈱種村建設、(㈱)福田組、 (㈱)横河ブリッジ